



広報

たたび

6 月号

No. 541

平成27年6月10日

特集 プラセセンターに行ってみよう!.....2~5

国道252号再開通/只見線復旧要望活動

人材育成ダイヤモンドプラザ7期生 ほか.....6~7

町の話題

小学校運動会/ちよボラごみ拾い ほか.....8~9

今月の表紙

5月30日、季の郷場ら里前の田んぼで「100人手植え」という田植えイベントが行われました。町外からも多くの方が参加し、イベント名のとおり100人近くの方が集まり、苗の手植のほか田植え機の同伴指導も行われました。

この日は非常に暑くなりましたが、会場は常に参加者の楽しそうな声であふれていました。彼には交流会も行われ、非常に盛り上がりがあったようです。

秋には稲刈りも企画されているとの事なので、ぜひまた多くの皆さんに参加していただき、ワイワイと楽しい一日を過ごして欲しいと思います。



ブナセンターに行ってみよう!



只見の自然を知りたいなら ブナと川のミュージアムへ!!

只見町ブナセンターは平成19年度にブナを核とした地域づくりを目指すため設立され、自然環境の保全と野生生物の保護活動や自然環境の調査研究活動などを行ってきました。また、調査研究をする中で集めた資料や情報は付属の博物館である「ブナと川のミュージアム」で展示、解説を行ってきました。

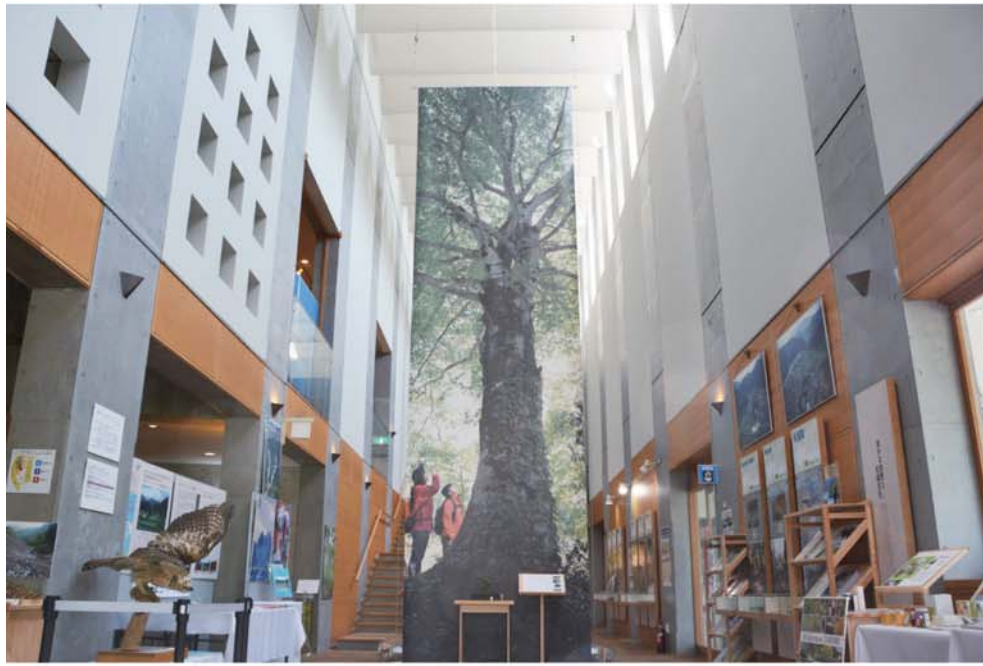
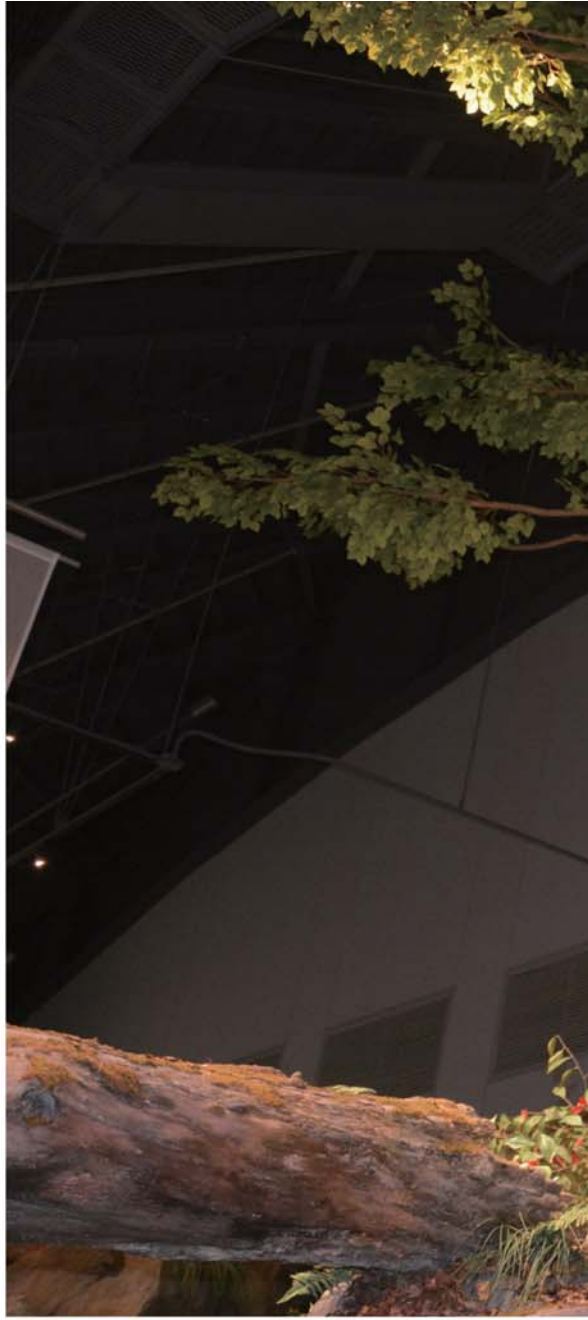
このブナと川のミュージアムは、只見の自然が模型などで再現され、只見町に生息している生き物の標本・剥製なども数多く展示されているので、いつ訪れても只見の豊かな自然環境について学ぶことができます。また、昨年登録された只見ユネスコエコパークについての展示もあり、ユネスコエコパークについて詳しく学ぶこともできます。ブナと川のミュージアム

では常設展示のほか年に4回の企画展も開催しており、企画展は写真入りの解説パネルや標本などの実物展示を行っています。

ブナセンターのホームページから見る事ができるブログでは、只見町の自然の様子や動植物の写真、自然観察会の様子などを知ることができます。



▲施設では只見の自然の映像作品も見れます



平成22年度からは只見町ブナセンターの事務局をブナと川のミュージアムに移し、町民の皆さんや来館者の皆さんのより一層身近な施設となるため「只見町ブナセンター友の会」を設立しました。友の会の会員になると入館料が無料になるほか、イベント情報などが掲載されたブナセンターだよりが郵送されますので興味をお持ちの方はぜひブナセンターまでお問い合わせください。



ブナセンターでは、今まで行ってきた企画展の解説パネルを書籍化した「企画展解説シリーズ」と、只見の豊かな自然環境についてテーマごとにまとめた「只見町フィールドガイド」を刊行し1冊500円で販売しています。フィールドガイドは只見を歩くには非常に便利な小冊子です。

ただみ・ブナと川のミュージアム

- 開館時間 午前9時～午後5時まで
(最終受付は午後4時まで)
- 休館日 火曜日(祝祭日の場合は翌平日)
年末年始
- 入館料 大人300円 小人200円
- ホームページ <http://www.tadami-buna.jp>
- 問い合わせ ☎0241-72-8355

ブナセンターでは今年も様々な企画展や自然観察会を開催します。6月以降に開催予定のブナセンター講座や自然観察会、企画展の内容は下記のとおりです。自然観察会にはガイドがつきますのでぜひご参加ください。

詳しい内容については、時期が近くなりましたらブナセンターのホームページなどでお知らせします。



▲好評につき6月7日まで会期が延びた企画展
只見の野鳥とその生態について

| | | |
|-----------|--|--|
| 6月20日(土) | ■ブナセンター講座 奥会津の地質にみる 日本列島の成り立ち | 講 師:山元 孝広 先生 (産業技術総合研究所) |
| 6月21日(日) | ■自然観察会 只見の地質を観察しよう | 観察地:塩ノ岐または黒谷を予定 講 師:山元 孝広 先生 (産業技術総合研究所) |
| 6月～9月 | ■企画展 只見町のブナの森 | |
| 7月25日(土) | ■写真教室 ヤマユリの咲く布沢を撮る! | 講 師:猪又 かじ子 先生 開催地:布沢集落 |
| 8月 1日(土) | ■ブナセンター講座 気候変動によって雪国の森はどのように 変わってゆくのか? | 講 師:中静 透 先生(東北大学) |
| 8月 2日(日) | ■自然観察会 夏のブナ林を歩く! | 観察地:只見沢 |
| 10月～11月 | ■企画展 昔の写真から見た只見町 | |
| 10月25日(日) | ■ブナセンター講座 ニセアカシアの生態と管理 | 講 師:崎尾 均 先生(新潟大学) 現地研修も含め、外来種ニセアカシアの 脅威についてお話していただきます。 |
| 秋季予定 | ■自然観察会 秋のブナ林を歩く! | 観察地:未定 |
| 12月～2月半ば | ■企画展 只見町の生物多様性を考える | |
| 12月19日(土) | ■ブナセンター講座 自然の恵みの活かし方 -今までもユネスコエコパーク登録後も- | 講 師:松田 裕之 先生 (横浜国立大学) |
| 3月～5月 | ■企画展 春植物の生活史 | |
| 3月13日(日) | ■ブナセンター講座 葉と花の戦略と絶滅危惧種の保全 | 講 師:鷲谷 いづみ 先生 (中央大学) |
| 冬季予定 | ■自然観察会 冬のブナ林を歩く! | 観察地:未定 |

春の自然観察会

ここでは、ゴールデンウィーク期間中に行った2つの自然観察会の様子をご皆さんにご紹介します。5月の自然観察会は両日とも天候に恵まれ、昨年の大雪で雪どけが遅かったことから、残雪と春の到来を楽しむことができました。



▲黒谷川流域での春植物を観察しました

5月2日(土) 「春の植物を愛でる！」

雪が多かったため、観察場所に向かう林道にも雪が残っていましたが、当日は恵まれた天候の中、観察会を行うことができました。

黒谷川流域にてフクジュソウの群生地を観察しましたが、今年は雪解けが遅かったことがさいわいして昨年より多くの場所でフクジュソウやカタクリ、キクザキイチゲを見ることができました。その後は場所を移動してユビソヤナギや雪食地形も観察し町内外から参加した23名の方は只見の春を感じていました。



▲残雪と新緑のブナ林を楽しめました

5月3日(日) 「春のブナ林を歩く！」

「癒しの森」で行ったブナ林の観察会には、今年は52名と大勢の方に参加いただきました。林内にはたくさんの雪が残っていましたが、ブナはすでに開葉しており、木によっては鈴なりの雄花をつけていました。例年同様に尾根沿いではオオイワウチワが開花して可憐な姿を見ることができました。また、雪の下から顔を出した青々としたエゾユズリハなどの常緑樹、交流広場に横たわる朽ちた国界の大ブナなども見られ、只見の自然をおおいに感じる観察会となりました。

さまざまな形で只見の自然を感じ学べるブナセンターへ皆さんぜひお越しください!

昨年の大雪で除雪作業が難航

国道252号 六十里越区間が再開通



▲再開通を祝いテープカットする関係者

国道252号の再開通式典が5月23日、歳時記念館駐車場で行われ、福島県や新潟県の関係者など大勢が出席しました。

例年、ゴールデンウィークには通行可能となっていた六十里越区間ですが、昨年の大雪で除雪作業に時間がかかり今年5月20日にやっと再開通となりました。

式典には、この日を待った多くの町民や観光客などが訪れ、皆で再開通を祝いました。



▲再開通日には車が列をつくりました

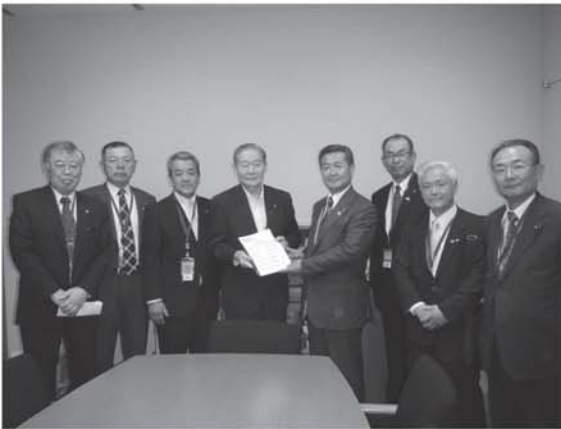
只見線沿線7市町村

国会議員に只見線全線復旧を要望

JR只見線の沿線7市町村は5月11日、福島県の関係国会議員へ只見線の早期全線復旧を要望しました。

今回の要望活動には、只見町、金山町、昭和村、三島町、柳津町、会津坂下町、新潟県魚沼市の首長や議長など関係者が参加し、JR只見線の復旧に向けた鉄道軌道整備法の早期改正などを19名の国会議員へ求めました。

翌12日も、赤字路ローカル線の災害復旧等を支援する議員連盟入会議員へ要望活動を行いました。



▲佐藤信秋議員へ要望書を提出するようす

地域福祉に貢献できる人材の育成

人材育成ダイヤモンドプラン事業 第7期生

5月18日、只見振興センターで人材育成ダイヤモンドプラン事業の第7期生となる「地域福祉に貢献できる人材」育成講座の開講式が行われました。

第7期生は9名おり、開講式では「介護のスキルを身につけたい」「介護についてしっかりと勉強したい」など意気込みを話してくれました。

第7期生の皆さんは、今年度は介護についての基本などを学ぶ予定となっています。



▲開講式後には1回目の講座が行われました



▲集会施設の完成を祝い乾杯

平成23年7月の新潟・福島豪雨災害で甚大な被害を受けた八木沢集会施設がこのたび完成し、5月3日に完工式が行われました。竣工式には地域の皆さんや関係者など約40名が出席し集会施設の完成を祝いました。完成した八木沢集会施設は、洪水時にも使えるように床を高くし、倉庫には防災用品や毛布などを備えており住民の交流のための施設だけでなく災害時の避難場所としても重要な施設となりました。

防災・交流の拠点に

八木沢集会施設が完成



▲ブナりんの歓迎に喜ぶ福島第三小学校の子ども達

5月27日、福島市立福島第三小学校の6年生78名が只見町に2泊3日で教育旅行に訪れました。児童は、湯ら里や町内の民宿に宿泊して癒しの森の散策や、ブナセンターなどを訪れ、只見町の素晴らしき自然を肌で感じ、自然の大切さを学びました。6月も、千葉県の東邦大付属東邦中学校の生徒約120名と、福島市立佐倉小学校の児童約50名が只見町に教育旅行で訪れます。

5月から9月にかけて

只見町に教育旅行生



▲移行地域を示す看板

只見ユネスコエコパーク推進協議会は、町民の皆さんや観光客の皆さんなどへ只見ユネスコエコパークを周知する目的で、域内への重なる入口となる国道289号線(梁取地内)および国道252号線(宮淵地内)に移行地域を示す看板を設置しました。この看板は、国道252号線(塩沢地内)にも今後設置する予定です。

「只見ユネスコエコパーク」

入口看板の設置について

ユネスコエコパーク関連事業

「只見町民による事業提案」について

只見町は、人間の活動と自然環境・野生生物の共存を目指す、ユネスコエコパークの制度的枠組みを利用して、「只見地域の自然環境や伝統的な生活・文化を守りつつ、活かす」町づくりを推進しています。そのため、事業の一環として、昨年12月に町民の皆さんに対してユネスコエコパーク関連事業の提案募集を行いました。その結果、耕作放棄地をソバ栽培に活用する畑作放棄事業、只見の特色を活かした農家体験ツアー事業など合計8件の事業提案をいただきました。今回、皆さんから提案いただいた事業について、今年度から予算化し、直ちに着手できるものは残念ながらありませんでしたが、今後、町で行う事業の中で皆さんからいただいた提案を活かせるよう検討を進めていきます。

地域の皆さんも楽しみにしていた！ 町内3小学校で運動会

学校の大きなイベントのひとつである運動会が町内3つの小学校で行われました。

朝日小学校、明和小学校の運動会は雨のため1日延期とはなりましたが、どの小学校も素晴らしい5月晴れのもと運動会を行うことができました。

この日を楽しみにしていた多くの地域の皆さんも、子ども達を応援したり競技に参加したりと運動

会を楽しんでいるようでした。

各小学校の運動会の様子を皆さんに写真で紹介します。

- | | |
|------|--------------|
| 1. 2 | 只見小学校(5月23日) |
| 3. 4 | 朝日小学校(5月17日) |
| 5. 6 | 明和小学校(5月17日) |



▲照りつける日差しの中、ごみ拾いに取り組む参加者

◀今回集められたごみは、燃えるごみ25袋、燃えないごみ10袋、粗大ごみで計80kgにもなりました

雪のため1ヵ月遅れの実施 朝日地区 ちょボラごみ拾い

朝日地区で例年4月に行っていた春のちょボラごみ拾いですが、今年は雪消えが遅かったため予定より1ヵ月遅れの5月24日に行われました。

今回は約60名の方に参加していただき、国道沿いや県道沿いなどのごみを拾いを行いました。

ちょボラごみ拾いはまた秋に行う予定ですので、次回も多くの皆さんの参加をお願いします。



4



3



6



5



◀ 旅行村をスタートする参加者の皆さん

▼ 今年もたくさんの子も達が参加してくれました



歩きながら只見の春を感じる 只見地区 町民ハイキング

5月17日、只見地区で町民ハイキングが行われ、70名の方が参加しました。

青少年旅行村をスタートし、参加者は2.8キロと5.4キロのコースに分かれそれぞれ只見の春を感じながらハイキングを楽しみました。

ゴール後には、用意された豚汁を食べたり、恒例のお楽しみ抽選会も行われたりと参加者は楽しい一日を過ごしました。

広報ただみ診療所

朝日診療所
所長 若山 隆



「めまい」

寒い冬がようやく終わって春が来たかなと思ったら、あっという間に日中30度を記録するなど夏がきてしまった感じがする今日この頃です。畑仕事も忙しくなるとは思いますが、みなさんくれぐれも無理をされて体調を崩さないようにしてください。

今回はめまいについてお話したいと思います。めまいは、重大な病気の場合もあれば、自然に治る軽い病気が原因でおこることもあります。重い病気の

代表としては脳卒中などがあります。軽い病気で最もよくある原因としては、^{りょうせいほっさいとうい}良性発作性頭位めまい症という病気があります。良性発作性頭位めまい症とは、良性（命にかかわらない）、発作性（突然おこる）、頭位（頭の位置・動き）に関連しためまいで、いわゆる「耳からくるめまい」と説明されるものです。脳卒中か良性発作性めまいかは簡単に見分けることができるので、見分け方を表で示します。

| | 脳卒中 | 良性発作性 |
|----------|--------------------|------------------|
| めまいの性質 | 「ぐるぐるまわる」はめずらしい | 「ぐるぐるまわる」めまい |
| 頭の動きとの関連 | なし | 頭の動きで誘発される（繰り返す） |
| 持続時間 | ずっと続くことが多い（繰り返さない） | じっとしていれば数分だけ |
| 頭痛、手足の麻痺 | ある | ない |

良性発作性頭位めまい症に特徴的なのは、「あたまの動きでめまいが誘発される」ことです。寝返りでめまいが誘発されれば、まず間違いないでしょう。

良性発作性めまい症の治療は、自然におさまるのを待つことです。早くなおるコツとしては、ゆっくりあたまを動かすとめまいも軽くすむので、なるべく日常生活動作を続けて、早くめまいに体を慣らすこと

です。めまいが激しい初日などは安静にしているしかありませんが、めまいが起こるからといって動かずにねたきりになっていると逆に長引きます。めまい止めの薬もあるにはありますが、効果は限られています。

嘔吐が激しく、水分が取れない場合などは診療所で点滴をしたり、吐き気止めなどの薬を使うこともできますので、症状が辛い時は受診してください。

地域おこし協力隊として vol.12 只見町教育振興協力隊 嶋田 恵理子

皆さん、初めまして！6月から奥会津・只見教育振興協力隊でお世話になっております嶋田恵理子です。茨城県石岡市からやって参りました。今年の3月まで4年間、茨城県にて中高一貫校で保健体育を教えておりました。専門はバスケットボールです。

初めての場所で分からないことだらけですので、地元の皆さんに色々教えて頂きたいと思っております。少しでも早くこの町に慣れ、この町を知り、只見を熱く語れるようになるということが今の目標です。只見町のために私の出来ることを全力でやっていきます！どうぞ、宜しく願い致します。



皆さんよろしくお願ひします！

町史

とっておきの話

251

東洋大学講師

久野 俊彦

只見町から考える

日本の中世・近世村落の書物文化財

猿丸大夫の歌の秘説と 山先巻物のまじない歌

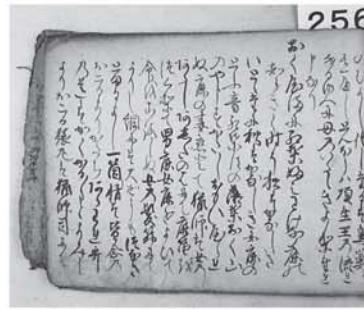
『百人一首』『奥山に』の秘説

歌を唱えてまじないを掛けることをウタヨミといいます。修験道のホウインはウタヨミをするために、和歌を習得し和歌書を持っていました。檜戸の龍蔵院に残る元禄十年（二六九七）『徒然藻塩草修行日記』には、『百人一首』の猿丸大夫の歌について、特異な解釈が記されています。

おくやまに 紅葉ふみわけ なく
鹿の 声きく時ぞ 秋はかなしき
いとどだに秋はかなしきに、鹿のとふ音、紅葉はの落葉、おく山のやどすかたがた、おもひやられぬ。鹿の妻恋とて、獵師は女のあしあしだのはにて鹿笛をつくりて、男鹿女鹿をよびて命をころしぬ。女の髪筋にてよりし綱には、大ぞうもつなぎとまるよし。一箇ノ情は、皆念のおこるより、かたちあらわれ、歌の道は、

かくかるがるとよみしよりおこる。猿丸は獵師司にて、日光権現も獵師頼、赤城明神退治ましますなり。万事万三郎は猿丸の御末なり。日本の嶽々知行したまふゆへに、靈仏山も皆々万三郎より大師々々もかりたまふなり。

獵りものを殺す時にとなへて曰、「南無、無量寿学仏必外無別法必仏及衆生」ト唱工申なり。



▲「奥山に」の歌の秘説
（『徒然藻塩草修行日記』龍蔵院蔵）

り。是にて殺生の罪、亡び申よし。

ここでは「歌人猿丸大夫」は、日光権現を助けた「狩人猿丸」であり、この歌は、獵師が鹿笛を吹いて女鹿を呼びだして狩り殺す歌だといえます。この解釈は中世近世の『百人一首』注釈書には見えませんので、

秘説といつていいでしょう。ここには、野獸を成仏させる引導の呪文も付されており、「奥山に」の歌は野獸を弔い、獸靈を山ノ神に返す儀礼の歌となつています。これは狩獵伝承による和歌解釈です。このような独自の和歌解釈が修験者に伝授されて、この地方の知識と技芸として共有されてきました。

狩人猿丸は、日光権現を助けて赤城明神を討ち狩獵守護神となつたと『日光山縁起』に記されています。『日光山縁起』の諸本の二つには、猿丸が狩りをして「奥山に」の歌を詠む場面があり、歌人猿丸大夫と狩人猿丸が同一視されていました。その子孫という万事万三郎は、東北地方の狩人（マタギ）が所持した狩りの巻物『山立根本巻』に登場します。

ヤマサキ巻物での猿丸の歌

山ノ神を祀つて祝詞を唱える人はヤマサキと呼ばれました。只見町黒谷の医家であった原田拓夫家に伝来した「山先由来根元」（文治五年二八九）仮託）には、猿麿が日光権現を助けた説話が記された後に、罪穢レ サル丸カミト 祈ル身ハ

己ガ心ノ ママニ狩獵と記されています。猿丸の名に罪けがれが去る意味が掛けられ、山での殺生・伐採の罪を清める歌となつています。また、慶応元年（八六五）の祝詞『山神宮十二上神』（黒谷 菅家重喜家蔵）に、「奥山に」の歌があります。

山神宮 きんしょうさいはい つつしみうやまつて きねんたてまつる かけまくもかしこき山神 水神 当社十二神の こう前にもうしもうさく こいねがわくは 四海泰平 国家安全 山川安全 五穀成就 山川のかしよく 家業繁盛 村中安泰に守らせたまうと おそれつ しみ うやまうす
猿丸大夫 奥山に もみちふみわけ なく鹿のこゑきく 時ぞあき

は かなしき
山の安全を祈る祝詞を唱えた後に、「奥山に」の歌をウタヨミして、奥山での安全祈願をしています。和歌の解釈は多様に存在し、奥会津地方には山仕事の生活に根ざした和歌の秘説が伝承されていたのです。



町民文芸

只見短歌会

四月詠草

大塚栄一

指導

花水木匂ふ庭にて女の孫がひたすらボールを打つ音響く

古川 英子

関谷登美子

進学する孫出でし後見て巡り過ぎし日のこと思ひ出しをり

馬場 八智

車中にて隣に座りし女らの福祉の話に耳をそば立つ

新国由紀子

葉桜となりても日曜の鶴ヶ城シートを敷きし人ら賑はふ

小倉キミ子

屋根雪の落ちし刹那の雪煙視界閉ざして広がりにてゆく

五十嵐夏美

日変りの寒さ言ひつぐ体弱き友気遣ひつつ暇乞ひなす

渡部ゆき子

就職せる孫を見送る門口に喜びつつも淋しさのあり

目黒 富子

向ひ家に入居する人訪れて手渡す鍵の重く感じぬ

渡部ヨリ子

違ふ紙を丁寧に折りあげて一息つきつつコーヒーを飲む

新国 洋子

娘の留守に孫嫁菜をつくりくれ夕餉の卓は曾孫と賑はふ

(出詠順)

只見俳句会

五月例会

目黒十一

指導

春昼や湯飲み茶わんの色模様

都

雪解川濁と清の筋二つ

投葉の多くなりゆく梅雨近し
一ト雨で青きましゆく春時菜

一穂

山頂に残る夕日やブナ若葉

恒 夫

堰普請終えてこぶしの木の方へ

浅草岳尾根白々と里桜
田水張る越後連山雲の中

敦子

行く春や螺子のゆるみし古時計

礼

初夏の風満身にダム堰堤

青天井めでたく扇納めけり
奥会津麦の秋風渡りけり

吉児

雪濁り魚の眠れぬ谷の村

順子

桜色の風渡りけり花の夜

堅雪や人影走り犬走る
雪解の川面の光風の音

邦男

昼時や二人分け合う桜餅

修一

湯疲れや身体投げ出す春の夜

春光に壁画の女微笑みて
ポンペイの奴隷あはれや春暮るる

信

今月のお知らせ

試験

南会津地方広域市町村圏
市町村圏組合職員採用
候補者試験（消防職員）

南会津地方広域市町村圏
組合では、消防職員採用候補
者試験を次のとおり行いま
す。

- 試験職種
消防職員（職務経験者）
- 採用予定人員
若干名
- 受験資格
 - ①昭和56年4月2日から平
成8年4月1日までに生ま
れた者
 - ②受験申込時で1年以上消
防業務に従事している消防
吏員、または、消防吏員とし
て3年以上の職歴を有し、
消防職を退職後、2年（平

成28年3月31日現在）以内
の者

- ③視力（矯正視力を含む）両
眼で0.7以上かつ一眼でそ
れぞれ0.3以上であつて、
赤色、青色及び黄色の色彩
の識別ができること。
- ④聴力が左右正常であるこ
と。
- ⑤普通自動車運転免許（A T
限定免許を除く。）の取得
者または平成28年3月31
日までに取得見込みの者

※次の各号のいずれかに該当
する者は受験できません。

- ①日本の国籍を有しない者
- ②成年被後見人または被保
佐人（準禁治産者を含む。）
- ③禁錮以上の刑に処せられ、
その執行を終わるまでまた
はその執行を受けることが
なくなるまでの者
- ④本組合の職員として懲戒免
除の処分を受け、当該処分
の日から2年を経過しない
者

- ①第1次試験
7月下旬に書類選考を
実施し応募者全員に結果を
通知します。
- ②第2次試験
個別面接及び作文

試験日・場所

8月20日（木）

午前9時30分～

南会津地方広域市町村圏組
合消防本部庁舎

合格発表

電話番号

| | | |
|---------------|-----|----------|
| 総合政策課 | 財政係 | ☎82-5220 |
| 地域振興係 | | |
| 総務課 | 係 | ☎82-5210 |
| 総務員 | 係 | |
| 町民生活課 | | ☎82-5110 |
| 税務係 | | ☎82-5100 |
| 町民係 | | |
| 保健福祉課 | | ☎84-7005 |
| 保健係 | | ☎84-7010 |
| 福祉係 | | |
| 農林振興課 | 林政係 | ☎82-5230 |
| 農政係 | | |
| 観光商工課 | 商工係 | ☎82-5240 |
| 観光係 | | |
| 環境整備課 | | ☎82-5270 |
| 地域整備係 | | ☎82-5280 |
| 生活環境係 | | ☎82-5120 |
| 会計室 | | ☎82-5300 |
| 議会事務局 | | ☎82-5230 |
| 農業委員会 | | ☎82-5320 |
| 教育委員会 | | ☎84-7180 |
| 学校給食センター | | ☎82-2219 |
| 只見保育所 | | ☎84-2038 |
| 朝日保育所 | | ☎86-2249 |
| 明和保育所 | | ☎84-2221 |
| 朝日診療所 （歯科） | | ☎84-2612 |
| 訪問看護ステーション | | ☎84-2130 |
| こぶし苑 | | ☎84-2101 |
| 只見振興センター | | ☎82-2141 |
| 朝日振興センター | | ☎84-2111 |
| 明和振興センター | | ☎86-2111 |

9月上旬までに本組合及び
本組合管内各町村役場掲
示するほか受験者全員に結果を
通知します。

※繰上げ合格候補者を決定
する場合は、第2次試験合
格発表後に辞退等により採用
予定人員に欠員が生じた場合
に限り、成績順に繰上げ合格
となります。

●受験手続及び受付期間
試験申込書類等は、本組合
ホームページからダウンロー
ドするか、南会津地方広域市
町村圏組合消防本部総務課
で交付します。

受付期間は7月21日（火）
までで、執務時間中に限りま
す。

（申請書類交付先・請求先）
〒967-0004

税 今月の納期

6月25日までに
納めましょう

- 町県民税（1期）
- 水道使用料（1期）
- 農集排使用料（6月分）

南会津郡南会津町田島字西
上川原乙65番地
（ホームページ）
<http://www.minami-aizu-kouiki.jp/>

●問い合わせ先
南会津地方広域市町村圏組
合消防本部総務課
☎0241(63)3119

サマージャンボ サマージャンボミニ7000万

◆発売期間◆

7月8日～7月31日

この宝くじの収益金は市町村の明るく
住みよい街づくりに使われます。



会津地域 若者サポートステーション

15〜39歳までの若者で、就職を目指す方や弊所の利用を経て就職をした方の、就職に向けたお手伝いや職場定着に向けたフォロー、キャリアアップのためのサポートを行う就労支援施設です。

就職に必要な知識や姿勢を身に付け、面接練習を通して「自己PR」や「志望動機」を伝えるコツを学ぶプログラム「ホンキの就職」を開催します。

申込みは6月26日(金)までで、定員になり次第、締切となります。

開催日は7月1日、7日、9日、14日の4日間で時間は午前10時30分〜午後4時まで。参加料は無料です。

●開催場所

会津地域若者サポートステーション内
(ヨークベニマル二箕町店隣接テナント)

●問い合わせ先

会津地域若者サポートステーション
(月〜金曜日 午前10時〜午後7時
土曜日 午前10時〜午後4時)

☎0242(32)0011

Email — info@job-sapo.com

町長の手帳

町長スケジュール (5月分)

- 1日 福島県町村会視察(会津管内)、県中・県南・会津地区国道協議会総会・意見交換会(郡山市)
- 3日 八木沢集会所施設竣工式
- 5日 ジュピアランドひらた芝桜まつり(平田村)
- 7日 只見町固定資産評価審査委員会、BR連絡調整会議
- 8日 只見町商工会通常総代会、全会津国保連打合せ
- 10日 三条市合併10周年記念式典(三条市)
- 11日 JR要望活動(東京)
- 12日 湯ら里取締役会、奥会津・西会津各町村長との意見交換会(三島町)
- 13日 会津総合開発協議会役員会(会津若松市)
- 14日 TNI工業訪問
- 15日 南会津地方町村会総会、会津高原ふるさと推進協議会理事会、南会津地方土地開発公社理事会、南会津地方林業協会総会、南会津地方広域圏組合管理者会、南会津防犯協会連合会総会、南会津地方町村連絡会懇談会(南会津町)
- 19日 観光まちづくり協会理事会、定例庁議、県知事との懇談会
- 20日 県知事との意見交換、只見線活性化対策協議会総会(会津坂下町) 民生児童委員協議会懇談会
- 21日 退職職員送別会並びに職員歓迎会
- 22日 会津ただみ振興公社通常総代会、湯ら里株主総会、(株)会津工場工場見学会・落成披露式典
- 23日 只見小学校運動会、国道252号六十里越雪わり街道再開通式典、衆議院議員菅家一郎氏対話集会
- 25日 会津総合開発協議会南会津地方部会、会津総合開発協議会定例総会、あいづふるさと市町村圏協議会総会、会津縦貫南道路整備促進期成同盟会総会、会津・野岩鉄道利用促進協議会総会(会津若松市)
- 26日 観光まちづくり協会総会、南会津会評議員会・理事会(南会津町)
- 27日 県地域医療課訪問、福島県森林林業緑化協会監事会・役員会(福島市)、集落座談会(小林)
- 28日 奥会津5町村活性化協議会監査、只見町交通安全対策協議会総会、八十里越道路暫定の活用検討懇談会(三条市)
- 30日 JA会津みなみ総代会(南会津町) 只見町文化協会総会

「世界に開かれた日本の奥座敷を目指して」

4月は日照不足、豪雪の雪消えも遅く六十里越峠の再開通も5月20日と大幅に遅れましたが、5月は一転して一挙に夏を思わせる陽気となりました。震災以降、地震や火山噴火も各地で起こり、気候変動ばかりでなく地殻変動も大きな変化が起こりつつある様です。

三条市で、5回目となる八十里越道路暫定の活用検討懇談会が開かれました。八十里越開通にかける三条の人は素朴で熱く、年来の友人のごとく我々を迎えてくれます。越後と会津は歴史的な交流・ゆかりがあるにせよ、新たな時代を求め、八十里越を切り開いていこうとする只見の大切なパートナーです。100メートルの橋脚を持つ5号橋梁の難工事もついに着手となりました。長岡国道事務所長さんからも今年は只見の中学生を対象に、八十里越の歴史学習、踏破体験の提案を頂きました。この峠路を活用し、未来を築いてくれることであろう若者への期待が込められています。

幾度となく言われてきた「あと10年」から確実に10年以内に供用開始になるという思いが確信に変わりました。八十里が開けば只見は経済・社会・生活文化圏域が大きく変わります。自然首都・只見にふさわしい地域としてその魅力を発信するために個人や団体、集落、企業がこれまで以上に共に活動することが求められています。

只見町長 目黒 吉久

町民の消息

(4月26日～5月25日届出分) 敬称略

■おくやみ申し上げます

| | | |
|---------|-----|----|
| 菅 家 千代江 | 63歳 | 黒谷 |
| 船 木 昌 | 91歳 | 長浜 |
| 平 野 アイシ | 90歳 | 長浜 |
| 吉 津 邦 弘 | 83歳 | 黒谷 |
| 三 瓶 千 代 | 89歳 | 大倉 |
| 川原田 喜代子 | 84歳 | 長浜 |
| 馬 場 ミトリ | 66歳 | 大倉 |

※「町民の消息」欄に掲載を希望されない方は、届出のときにその旨をお伝えください。

人のうごき

平成27年5月1日現在

| | |
|------|--------------|
| 人 口 | 4, 497 (+14) |
| 男 | 2, 185 (+14) |
| 女 | 2, 312 (± 0) |
| 世帯数 | 1, 801 (+18) |
| 高齢化率 | 43.8% |

※高齢化率とは、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 33 転出 14 出生 1 死亡 6

あとがき

▽今月号の表紙のイベントは参加者全員が楽しめた素晴らしいイベントだと思えました。イベントが終わりカメラを見ると、いつの間にか写真を200枚以上撮っており、しかも多くが良いなあと思う写真でした。良い写真を撮れない時も困りますが、良い写真が撮れ過ぎた時も逆に困ります。

▽広報ただみで使える写真はほんの数枚。今回は運動会などもあり写真選びに本当に悩んだ6月号でした。

(吉津)

只見振興センター
三瓶美由紀

只見振興センター
図書室 ☎82-2141

おすすめ新着図書

★鹿の王 上・下巻



上橋菜穂子 / 著 (角川書店)

強大な帝国・東乎瑠にのまれていく故郷を守るため、絶望的な戦いを繰り広げた戦士団“独角”。その頭であったヴァンは奴隷に落とされ、岩塩鉱に囚われていた。ある夜、一群れの不思議な犬たちが岩塩鉱を襲い、謎の病が発生する。その隙に逃げ出したヴァンは幼子を拾い、ユナと名付け、育てるが—!? 厳しい世界の中で未曾有の危機に立ち向かう、父と子の物語が、いまはじまる—。2015年本屋大賞受賞作品。

★世界でいちばん貧しい大統領のスピーチ



くさば よしみ / 編
中川学 / イラスト (汐文社)

2012年、ブラジルのリオデジャネイロで開かれた国際会議。南米のウルグアイのムヒカ大統領はのちに世界の人々から絶賛されるスピーチをのこします。その全容を、ムヒカ大統領が行ったスピーチを意識し、子供向けの表現に編集して絵本化したものです。大人にもぜひ読んでもらいたい1冊です。

★福島のおきて フクシマを楽しむための51のおきて



福島県地位向上委員会 / 編
(アース・スターエンターテインメント)

「福島県」の魅力や自慢、名物、暮らし、県民性、歴史…などなどを、至極の“あるあるネタ”として51項目、紹介しています。島県在住者から、今は福島を離れている福島県出身者、はたまた福島に移住を考えている他県出身者まで、この1冊を読めば、“福島のおきて”がわかります!

★その他にも図書室にはたくさんの本が置いてあります。リクエストも随時受付けていますので、ぜひご利用ください。

1、ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう

1、互いに助け合い親切をつくり楽しい町をつくりましょう

1、産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう

1、教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう

1、きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう



ヒメサユリ (学名: *Lilium ruberum*)

[ユリ科 ユリ属]



ヒメサユリの分布域は狭く、東北地方南部の内陸を中心とした多雪地帯だけに限られます。そのため、環境省のレッドリスト（絶滅の恐れのある生物種の一覧）には、準絶滅危惧種として登録されています。6月になると、只見町ではヒメサユリをあちこちで目にします。たとえば、只見駅の裏の百合平やその隣のスキー場、要害山や蒲生岳の登山道沿い、柴倉山中腹の鉄塔周辺の刈り払い地、浅草岳の雪田草原から鬼が面山の切り立った尾根道、雪食

地形の岩肌などで見ることができます。浅草岳山頂や雪食地形の岩肌など自然度の高いところがヒメサユリの本来的な生育地で、刈り払い地や百合平など人里に近く、また、人の手が加わったところは二次的な生育地と考えられます。只見町は山が多く本来的な生育地が多く、その合間に二次的な生育地の人里があるというように景観が多様です。そのため本来の生育地がヒメサユリの種子源となり、そこから散布された種子が人里に届き、定着するのでしょう。地面に届いた種子は、翌年、小さな球根になり地中で過ごし、その次の年によく葉を一枚だけ地上に出します。ゆっくり成長するために、栽培環境下でも種子から開花までに5年程度かかります。

昨年（2014年）、百合平やスキー場の雪どけは4月末、そしてヒメサユリの開花は6月上旬に始まりました。浅草岳山頂周辺は7月上旬に雪どけし、8月上旬に開花しました。ヒメサユリは雪どけからひと月程度で開花します。雪どけから短期間のうちに芽生えて開花できるのは、前年のうちに花芽を形成しているからです。雪が多く地形が複雑な只見町は、雪の消える時期が場所ごとに違います。そのため、ヒメサユリの開花を長期間にわたって見ることができるのです。

ブナセンター講座

「奥会津の地質にみる日本列島の成り立ち」

日 時：6月20日(土)

自然観察会

「只見の地質を観察しよう」

日 時：6月21日(日)

火山学と地質学を専門とする山元孝広先生(産総研)をお招きし、「只見の地面を感じる」講座と観察会を開催します。

企画展示

「只見町のブナの森 -ブナの生態から利用まで-」

期 間：6月27日(土)から

詳しくは、
只見町ブナセンター
までお問い合わせ
ください